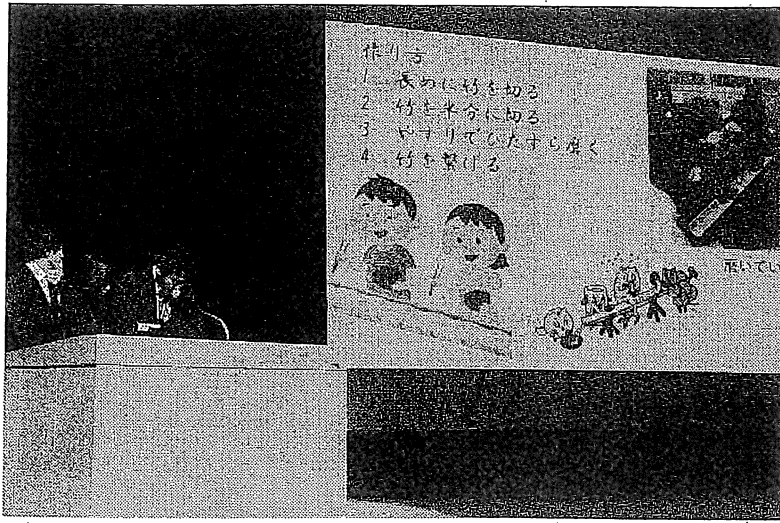


充実した発表が続いた会場＝20日、奈良市東寺林町の市ならまちセンター



奈良佐保短大（馬越かよ子学長、奈良市鹿野園町）の地域こども学科成果発表会「保育者プラス」が20日、奈良市東寺林町の市ならまちセンターで行われた。

学びの成果多岐に

研究 性同一性障害への理解を
保育 自然とのかかわり深める

同学科は、保育や教育、福祉の専門職を育てるため、実践的な活動に取り組んでおり、この日は2年生56人と1年生の一部、15人が成果を発表。

内容は、性同一性障害（GID）への理解を深める研究や県内の幼稚園で実践した運動あそびの成果、竹など身近な植物を使って子どもと自然のかかわりを深める保育など多岐にわたった。

同短大内の子育て支援センターで子どもや保護者とかかわる経験から学んだ成果を発表

した2年、原田来夏さん（20）は「保護者の生の声を聞くことも多く、たくさんの貴重な学びがあった」と話した。

会場では同短大と連携協定を結んでいる県立高田高校の生徒による音楽発表もあった。